

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第1区分
【発行日】令和4年12月1日(2022.12.1)

【公開番号】特開2021-101155(P2021-101155A)
【公開日】令和3年7月8日(2021.7.8)
【年通号数】公開・登録公報2021-030
【出願番号】特願2019-232457(P2019-232457)
【国際特許分類】

G 0 1 C 15/00(2006.01)

【F I】

G 0 1 C 15/00 1 0 3 D

G 0 1 C 15/00 1 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月22日(2022.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

前記第1プリズム56と前記第2プリズム57とは、前記第2面61を介して一体化されている。又、前記第1プリズム56と前記第3プリズム58とは、前記第4面63を介して一体化されている。又、前記第2プリズム57は前記第2面61と対向する第5面64を有し、前記第3プリズム58は前記第4面63を有する第6面65を有している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0093

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0093】

図5(D)に示されるダイクロイックプリズム81は、前記ダイクロイックプリズム71と同様に、第1プリズム82の第2面81bに第2プリズム83と第3プリズム84とがそれぞれ貼付けられ、一体化されている。又、前記第3プリズム84の紙面に対して上側の面及び前記第1プリズム82の紙面に対して上側の面は、それぞれ反射防止膜が設けられた第6面81fとなっている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0102

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0102】

該第4面91は、反射測距光を反射し、反射追尾光を透過する。前記第4面91で反射された反射測距光は、前記第1面87を透過して受光部39(図2参照)に受光される。又、前記第4面91を透過した反射追尾光は、前記第6面93を透過して撮像素子45(図2参照)に受光される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0117

10

20

30

40

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0117】

反射測距光は、分離面としての前記第4面114dで反射される。一方で、反射追尾光は、前記第4面114dを透過し、前記第3面114cで反射される過程で前記色ガラス115を通過し、外乱光が減衰又は除去される。従って、外乱光が受光結果に影響を及ぼすことはなく、追尾精度を向上させることができる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0152

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0152】

前記ダイクロイックプリズム144は、前記第1プリズム145の対物レンズ37（図2参照）と対向する面が第1面147となり、該第1面147と対向する面が第2面148となり、前記第1プリズム145の紙面に対して下側の面が第3面149となる。又、前記ダイクロイックプリズム144は、前記第1プリズム145と前記第3プリズム146との境界面が第4面151となり、前記第3プリズム146の紙面に対して上側の面が第6面152となっている。

【手続補正6】

20

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0174

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0174】

例えば、波長 $\lambda' > \lambda$ の波長 λ の関係に於いて、測距光の波長を λ とし、追尾光の波長を λ' とした場合、入射角が小さい場合（前記分光特性171）には、測距光と追尾光が共にロングパスフィルタにより反射される。一方で、入射角が大きい場合（前記分光特性172）には、測距光はロングパスフィルタに反射され、追尾光はロングパスフィルタを透過することとなる。

30

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0175

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0175】

前記ダイクロイックプリズム167では、第1面167aを透過した反射測距光及び反射追尾光は、前記第2面167bに入射する。該第2面167bに対する1度目の反射測距光と反射追尾光の入射角は小さい（前記分光特性171）為、反射測距光と反射追尾光は共に前記第2面167bにより反射される。

40

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0176

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0176】

該第2面167bで反射された反射測距光と反射追尾光は、前記第1面167a、第3面167cで順次反射された後、前記第2面167bに入射する。該第2面167bに対する2度目の反射測距光と反射追尾光の入射角は大きい（前記分光特性172）為、反射測距光は前記第2面167bで反射され、反射追尾光は前記第2面167bを透過する。

50

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0179

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0179】

第1面173aを透過し、第2面173bに1度目に入射する際の入射角は小さい為、反射測距光と反射追尾光は共に全反射される。又、前記第1面173a、第3面173cで順次反射された後、前記第2面173bに2度目に入射する際の入射角は大きい為、反射追尾光は前記第2面173bを透過し、反射測距光は前記第2面173bで反射される。即ち、該第2面173bは分離面としても機能する。

10

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0183

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0183】

第1面176aを透過し、第2面176bに1度目に入射する際の入射角は小さい為、反射測距光と反射追尾光は共に全反射される。又、前記第1面176a、第3面176cで順次反射された後、前記第2面176bに2度目に入射する際の入射角は大きい為、反射追尾光は前記第2面176bを透過し、反射測距光は前記第2面176bで反射される。即ち、該第2面176bは分離面としても機能する。

20

30

40

50